

情報セキュリティ10大脅威2024

（「組織」向け脅威）

IPA(独立行政法人情報処理推進機構)は、セキュリティ分野の研究者や企業の実務担当者から成るメンバーにより選考された「情報セキュリティ10大脅威2024」を発表しています。

順位	「組織」向け脅威	初選出年	10大脅威での取扱
1	ランサムウェアによる被害	2016年	9年連続9回目
2	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	2019年	6年連続6回目
3	内部不正による情報漏えい等の被害	2016年	9年連続9回目
4	標的型攻撃による機密情報の窃取	2016年	9年連続9回目
5	修正プログラムの公開前を狙う攻撃(ゼロデイ攻撃)	2022年	3年連続3回目
6	不注意による情報漏えい等の被害	2016年	6年連続7回目
7	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	2016年	4年連続7回目
8	ビジネスメール詐欺による金銭被害	2018年	7年連続7回目
9	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	2021年	4年連続4回目
10	犯罪のビジネス化(アンダーグラウンドサービス)	2017年	2年連続4回目



本年5月、専門家はこうした脅威について、「運が悪ければ被害に遭う」というより、隙があると「いつかは被害に遭う順番が回ってくる」と警鐘を鳴らしています。

—— 「いまやランサムウェア攻撃と無縁ではられない時代」です。

予防・対策のためにもサイバーセキュリティセミナーの受講をご検討ください！

IPA(独立行政法人情報処理推進機構セキュリティセンター)発行「IPA NEWSvol.66」より引用 <https://www.ipa.go.jp/>



← 公式X(エックス | 旧Twitter)でサイバーセキュリティ情報を発信中です。

@shiga cyber

滋賀県警察本部 サイバー犯罪対策課 077-522-1231(代表)